

日本の食と農を考える 2022 年度公開研究会のお知らせ

第 2 回 「種子法廃止後のたねのゆくえ」

2022 年 7 月 8 日 日本科学者会議食糧問題研究委員会

暑中お見舞い申し上げます

戦後の我が国における食糧確保のため、主要農作物の米・麦類・大豆の種子の安定生産と供給を目的に、優良な品種の種子の生産責任を、公的機関に義務付ける主要農作物種子法（種子法）が廃止となり、各自治体で独自の対応がおこなわれています。

そうした動きを受け、日本の食と農の在り方を考えます。コロナ禍の再拡大が懸念される中、ZOOM を使い多くの方と議論を深めますのでぜひご参加ください。

なお 3 回目以降は当面以下を予定しています。

9 月 1 0 日（土）	「食品の表示の現状と課題」（仮）	原 英二
1 0 月 1 5 日（土）	「生協産直の動向」（仮）	西村一郎

記

①テーマ 「種子法廃止後のたねのゆくえ」

②概要

「たねと食とひと@フォーラム」では、2018 年 4 月の主要農作物種子法（種子法）廃止以降、毎年、全都道府県を対象に種子生産に関わるアンケートを実施してきました。5 年目となった今年は、気候変動に関する対応策や、奨励品種のうち道府県登録品種の許諾（申請及び許諾料の有無、条件）についても聞いてみました。

回答からは、どの自治体も自負と責任感を持って、優良な種子を安定供給するための努力を続けていることが伝わってきました。また、自家増殖の許可ひとつにしても扱いは一律でなく、品種ごとにきめ細かい対応がなされていることがわかります。

データをもとに、たねのこと、食と農のこと、自給力のこと、いっしょに考えてみませんか。

③報告者 吉森 弘子 「たねと食とひと@フォーラム」共同代表 日本科学者会議食糧問題研究委員会

④スケジュール

8 月 20 日（土）

1 4 : 0 0 ~ 1 4 : 0 5 開会挨拶

1 4 : 0 5 ~ 1 5 : 0 5 「種子法廃止後のたねのゆくえ」報告

1 5 : 0 5 ~ 1 6 : 0 0 質疑応答と議論

⑤参加

無料です。希望者は下記へ当日接続してください。

<https://us06web.zoom.us/j/83006240026?pwd=bWUyS2tmVm5ob1ZocmFvc1J2eUhuUT09>

ミーティング ID: 830 0624 0026

パスコード: 638627

このテーマにご興味のある方がいましたら、お誘いをよろしく申し上げます。

以上です。